

第1回 学校運営協議会 議事録

日時 令和7年5月13日（火）14:30～16:00

場所 岡山県立瀬戸高等学校 会議室

（委員9名のうち7名が出席：うち1名はリモート参加）

1 校長挨拶（任命書交付）

任命書は机上配布

○委員を依頼するにあたっての根拠

○令和7年度在籍生徒数

○令和8年度入学生用瀬戸高校スクール・ポリシー

○令和7年度学校経営計画書

○令和7年度瀬戸高教職員フィロソフィー

○生徒募集状況

特別入学者選抜の実施状況、学区外受け入れ枠を5%から20%へ拡大

○令和7年度DXハイスクール取組

① 数理データサイエンス教育の推進

② 生成AIを含むAI活用による学びの深化

③ 教員の働き方改革

④ 環境整備と全校的推進体制

今後の保護者向けAI体験（PTA総会）・メタバース体験・中学生向け企画など

2 出席者自己紹介

3 学校運営協議会について

（1）岡山県立学校における学校運営協議会の設置について

○岡山県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

守秘義務が記載されているのでご確認をおねがいする。

○岡山県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱P17～18

委員名簿の参照・組織表も参考

○コミュニティ・スクール図説

（2）岡山県立瀬戸高等学校における運営協議会について

（3）令和6年度学校運営協議会報告

4 会長、副会長選出

会長 金谷 文則 氏、副会長 信宮 誠 氏で承認

5 会長挨拶

金谷会長欠席のため、信宮副会長が挨拶

6 協議

(1) 令和7年度具体的な学校経営目標・計画等について

・令和6年度学校評価書報告

昨年度のものをまとめて、県教育委員会への報告をしている。

HPへ掲載している。

・令和7年度具体的な学校経営目標・計画

昨年度の学校評価書を参考に、今年度の目標値を設定

DXハイスクール採択校としての取組

・各課・年次の取組

教務課 学校改善アンケートの肯定的な回答が減少したが高い数値を保つ、学校の魅力の発信、事業改革、図書館利用、入試の厳正な実施などを重点目標とする。

数理データサイエンスや生成AIを用いた授業を推進する。

オープンスクールで生徒が主体的に活動できるように工夫する。

見やすい学校ホームページを作成し、魅力の発信を工夫する。

生徒課 重点目標に「凡事徹底」を新たに設けた。

瀬戸校祭の会場変更（文化祭の一部：瀬戸公民館、体育祭：山陽ふれあい公園体育館）とそれに伴う移動手段・安全対策を検討中である。

丁寧なコミュニケーションができる生徒の育成、対話を通じた指導を組織として実施していく。

進路指導課 資料参照

厚生課 歯科治療率の目標を県平均より上回るように設定した。

防災訓練を事前告知型とし、内容を工夫して実施する。

地域の防災キャンプに参加し、地域との連携を図る。

新入生に災害時の引き渡しカードを作成し、整理していく。

1年次 元気よく学校生活に向き合っている生徒が多いが、学校生活に馴染めない生徒もいるので、丁寧に対応していく。

2年次 2年次の進級し、新しい学びや学習方法を工夫して、学習時間を増やしていきなす。

3年次 学習時間が少ないことが課題であり、進路実現に向けて集中できるようにサポートしていく。

・教育課程の編成に関して

今年度から特別支援教育の自立活動を週時程外で1時間設定している。

・組織編成に関して

教務課と生徒課が行っていた式典業務を教務課に一本化した。

厚生課の教育相談室の中に通級指導を追加した。

・予算執行に関して

学校経営予算 → 総合的な探究の時間にかかる事業計画を載せている。

D Xハイスクール予算 → 2年目は500万円分の事業が実施できる。

7 質疑・応答

(委員) 具体的な学校経営目標・計画の具体的な計画で、1年生が①と②で同じ内容になっているが、これでいいのか。

(事務局) ①の内容が間違っているので、修正する。

(委員) 学校改善アンケートの生徒の数値はあるが、教職員のアンケートは行っているのか。

(事務局) 行っている。数値は良い。

(委員) 自立活動は今年からできたのか。具体的には何をするのか。

(事務局) 特別な支援が必要な生徒への対応として今まで準備してきていたが、今年度から実施できるようになった。ソーシャルスキルトレーニングなどを行う。

(委員) 同窓会係が今年度は教務課内に設定されているのはなぜか。

(事務局) 同窓の教職員以外も業務を担当できるようにした。

(委員) 教育DXについて、全体として生徒の反応はどうか、目に見えるものは何かないか。

(事務局) キャンバを使えるようになって、プレゼンテーションの質が向上したことを、多くの生徒が体験している。データサイエンスを2年次で実施している。3年生では、志望理由書の作成において、生成AIを活用してブラッシュアップしている。

(委員) 2年次制の在籍人数が減少しているのはなぜか。

(事務局) 158名でスタートした年次、元氣よく学校生活を送っていたが、年度末に数名の異動があった。

8 意見交換

(委員1) DXが始まって新しい取組をしていく中で、教員の疲弊感が心配である。

(委員2) 4クラス規模の普通科で160名満たしたのは瀬戸高のみ。近隣の中学校と連携して募集定員を満たす学校であってほしい。8月4日の防災キャンプへの協力をお願いしたい。

(委員3) 初めて参加した。子供たちが進んで活動できる環境作りをお願いしたい。保護者の立場から、文化祭PTA行事を盛り上げていきたい。

(委員4) 中学校での総合的な学習の時間で高校と連携していきたい。中学生を高校の授業へ行かせる取組はあるが、その逆も是非お願いしたい。

(委員5) デジタルとアナログの両方を推進しているところがよい。赤磐市には高校が無いので、通学の支援など行っている。将来地域に帰って活躍できる人材育

成をお願いしたい。

(委員6) 教育 DX では、生徒一人ひとりが自分の成長を感じられるといい。大学での学生は能力が高いので、高校でも能力伸ばしていく場面があればいいのでは。

9 その他

(1) 第2回学校運営協議会について 11月～12月上旬で調整

(2) その他